

令和5年度

教科書調査研究報告書

小学校

国語

富士地区教科用図書採択連絡協議会

富士地区教科書研究委員会

I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
2 東京書籍	あたらしいこくご 新しい国語	1～6年
17 教育出版	ひろがることば ひろがる言葉	1～6年
38 光村図書	こくご 国語	1～6年

II 調査研究の観点

1 内容

- (1) 日常生活における様々な場面で生きて働く「知識・技能」を習得したり、「思考力・判断力・表現力」を養ったりできるよう、配慮されているか。
- (2) 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するために、言語活動にはどのような工夫がされているか。
- (3) 教科等横断的な視点を踏まえた内容が取り上げられているか。

2 組織・配列・分量

- (1) 身に付けた知識・技能を活用しながら言語活動に取り組むために、教材の配列や構成、分量にはどのような工夫がされているか。
- (2) 児童一人一人が主体的に言語能力を身に付けていくために、教材の配列や構成にはどのような工夫がされているか。

3 児童の発達の段階への配慮

- (1) 児童の発達の段階や生活体験、興味・関心に応じるために、どのような配慮や工夫がされているか。
- (2) 表記、用語、挿絵、図表等は正確・適切・鮮明であり、児童の発達段階に配慮がされているか。

種目名	国語
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略称		
2 東書	新編 新しい国語	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の力」で指導事項が明確に示されていてよい。 ・「読むこと」を扱った単元の初めに2次元コードを活用して既習の学習内容を振り返ることができる。また、デジタルノートの作り方が示されており、系統的な指導ができる。 ・1年生の上では、始めの部分が丁寧で、児童が文字と音を一致させるとことを学ぶのに適している。 ・各学年に応じたメディアリテラシーに触れているのがよい。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材が多く配列されているため、スモールステップで学習を進めていくことができる。 ・生活科や社会科の見学等と合わせて学習できる。 ・言葉の力に焦点を当てて身に付けてきた力を思い出し、見通すところから始め、最後に振り返って生かすという流れが統一されていてよい。 <p><児童の発達段階への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真が大きく鮮明で様子が分かりやすい。興味や関心を持つことができる。しかし、写真がリアルすぎて児童によっては苦手な子もいるかもしれない。 ・1年生の言語指導が行いやすいつくりになっている。手を叩く動作と記号が添えられていて、文字と発音の仕方が一致しやすくなっている。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードの活用、メディアリテラシーに関わる内容など、情報社会に生きる児童の実態に合っている。 ・写真の資料が美しくインパクトもあり、児童の興味を引く。 ・学習する事項が「言葉の力」にまとめられていて分かりやすい。

別紙様式 2

種目名	国語
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
17 教出	ひろがる 言葉	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年で、他教科に関連するような教材が含まれている。また、高学年になると、キャリア教育の視点から自分の生き方を考える内容やSNSとの付き合い方を扱う等、教科等横断的な学びとなる構成になっている。 内容の扱いが幅広く、児童が深い思考力を養い、多様な表現方法を身に付けることができる。複数の教材が関連した単元を設定することで、日常生活に生きて働く言葉の力を身に付けられる。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭にその学年で学ぶ知識及び技能、思考力、判断力、表現力をまとまりごとに色分けして示し、言語活動も併せて提示されている。そのため、児童が年間を通して国語で身に付けたい力や学習内容を視覚的に把握できるように工夫されている。また、その色分けが6年間で継続されているため、児童が何を学ぶのか理解しやすいとなっている。 各単元で育成する資質・能力を「ここが大事」という欄でまとめて説明し、巻末でそのまとめがあることが、非常によい。 <p><児童の発達段階への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> 学びリンクで関連情報を閲覧することで個別最適な学びとなる。 図やグラフ等の色、大きさ、文章の行間等に、ユニバーサルデザインが工夫され、紙面がすっきりとしてとても見やすい。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標がはっきりとしているだけでなく、単元の見通しを持ちやすい。 子供たちの実態に合わせて単元のゴールを設定しやすい。 「話す・聞く」「書く」領域の学習内容が豊富で、様々な表現方法を学ぶことができる。 全学年上下巻の分冊になっているので持ち運びがしやすい。

別紙様式 2

種目名	国語
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果
略 称		(①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
38 光村	国語	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明が端的で分かりやすい。 ・物語や詩の内容が良い。様々な時代のものが掲載されている。 ・様々な分野の説明文が掲載されている。 ・季節の言葉が紹介されているのが良い。 ・言葉や情報の取り扱いについてのページは、読むときにも書くときにも活用できる。 ・物語の挿絵が効果的な使われ方になっている。 ・写真は比較的小さいため、もう少し大きめになるとなおよい。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れがわかりやすく、見通しをもちやすい。 ・教科横断的な内容のものが多い。 ・「読むこと」での学びを「書くこと」に生かすことができるようになっている。 <p><児童の発達段階への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年の読み物教材の文字が太く、読みやすい。 ・QR コードの内容が厳選されている。 ・低学年は、新出漢字の筆順が示されていて良い。 ・読み物教材の挿絵の色合いが良いが、色が濃く、きつい印象を与える箇所もある。 ・持ち運びを考えると、2冊に分かれているとなおよい。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材が魅力的。学習の流れもはっきりとしていて分かりやすい。しかし、指導者によって子供たちの学びの深さに差が出てしまう恐れがある。 ・読む教材の目標が「…を伝え合おう」になっているので、評価に戸惑う可能性がある。